

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサート概論 1	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回講義内容に応じた資料配布を行い、Power Pointを用いて補足を行う				
担当教員情報					
担当教員	堀田 和宏		実務経験の有無・職種	有・音響技術者	
学習目的					
この講義ではコンサートの企画制作に関する基礎知識を技術面から理解し、身に付ける。コンサートの歴史を時代背景と共に解説し、現代のコンサートがどのように成り立ったかを伝え、これから企画制作するにあたり多くの選択肢を持つプロへと育成する。また興味を持ち続けられるように常に最新のコンサート情報を提供する。コンサートにおけるテクニカル三大セクションである音響、照明、舞台を分野別に解説し、すべてのセクションが違う仕事に従事していたとしても、これらが合わさって初めてコンサート演出が成り立つ、ということを理解する。すべてのセクションを理解することにより、業界において自分が所属する以外のセクションに対して気遣うことができるようになり、現場で愛されるスタッフとなっていく。					
到達目標					
コンサートは誰かひとりの手で作り上げられるものではなく、様々なセクションで活躍するたくさんのスタッフの手によってもたらされるものであるということを理解する。コンサートの中身の部分を担うテクニカルセクションは、アーティストが想う演出を叶えるうえで欠かせない存在であり、観客として楽しんでいるときには見えない努力や工夫を講義を通して理解していく。音響、照明、舞台の3つのセクションの仕事を理解することでコンサート技術の全容を理解し、来るべきコース選択に備えるための礎となるよう、判りやすく講義展開していく。Power Pointを用いて一例となる写真を見せ、より現場が身近に感じられ、自分が働くべき場所がどこなのであるかということに気づきを得てもらうことを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この講義ではコンサート企画制作スタッフとして最低限覚えておくべきマナーと言うべき知識を学びます。コンサートの成り立ちや、これまで学生にとって楽しむものであったコンサートを仕事として見るができるよう、思考の転換に繋がるようになるべく多くの知識を提供する。歴史を紐解きながら解説をし、理解を深める。Power Pointで講義を進行するが、同様の紙資料を配布することにより補足説明を板書に直接できるよう工夫をする。またなるべく写真を増やし、学生がイメージしやすい講義になるようにする。				
注意点	毎回配布する資料が多いため、試験対策となるようすべての資料をまとめるための工夫が必要になると思われる。Power Pointの活用によりなるべく補足事項をスライド映写し、ノートを取るというよりは配布した資料に追加記入するような板書のスタイルを指導する。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	講師自己紹介（オリエン）		講師の素性とこの科目で何を学ぶかを学生たちに周知すると共に、学生が興味あることをリサーチする		
2回	コンサート概論とは（オリエン）		コンサートとは様々な仕事の集合体であり、そのひとつひとつが何なのかを理解する		
3回	ビジネスとしてのコンサート（1）		コンサートを仕事にすることに対する理解を深める		
4回	ビジネスとしてのコンサート（2）		学校で学んだ技術がどのように世の中で活かされるかを知る		
5回	舞台での約束事（1）		舞台では危険が伴うことを実例を基にして学ぶ		
6回	舞台での約束事（2）		舞台における安全管理の内容と重要度を学ぶ		
7回	コンサートの歴史（1）		江戸時代に行われていた歌舞伎等の演目がどのように現代に影響しているかを歴史を紐解きながら学ぶ		
8回	コンサートの歴史（2）		昭和に行われていた歌謡曲のコンサートはどんなものであったか、そこから派生した現代への影響		
9回	コンサート会場と種類（1）		アリーナ、ホール、ライブハウスの基本的な特徴と区分けを説明する		
10回	コンサート会場と種類（2）		アリーナ、ホール、ライブハウスがどのように使い分けされているかを説明する		
11回	コンサート会場の歴史（1）		歌舞伎小屋はどんなものであったか。ステージの使われ方を説明する		
12回	コンサート会場の歴史（2）		ステージで行われる演目が時代と共にどのように移り変わって行ったかを解説する		
13回	コンサート会場の歴史（3）		観客の収容に重点を置き、列整のやり方のマニュアル化などに着目する		
14回	前期まとめ（1）		前期に学んだ内容をおさらいする		
15回	前期まとめ（2）		夏休み期間中にできるだけ多くのコンサート会場を視察し、レポートを提出		